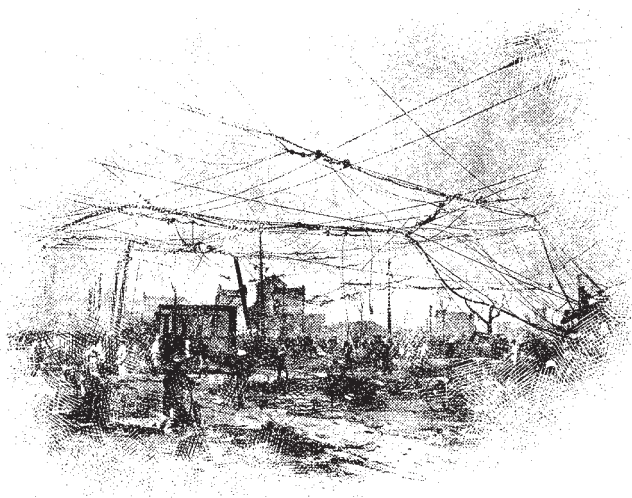
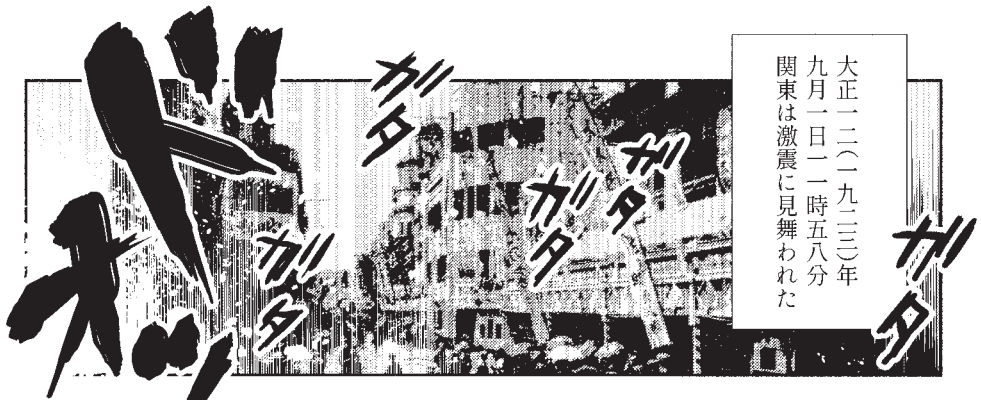


第3章

関東大震災、鈴木商店の破綻

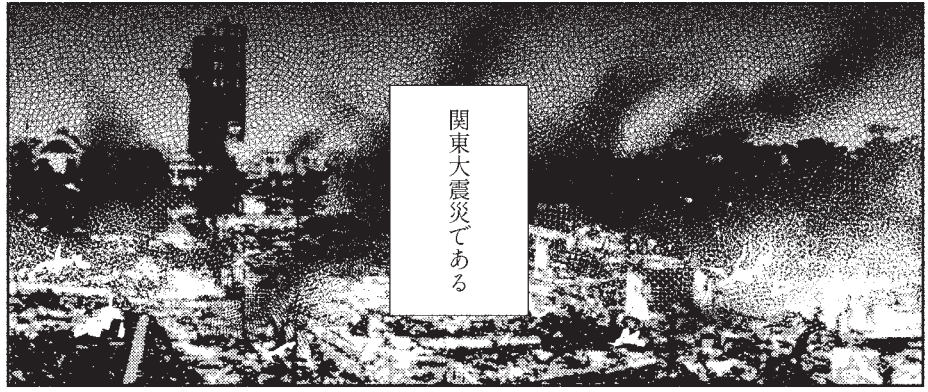




大正一二(一九三三)年
九月一日一時五八分
関東は激震に見舞われた



なにーっ
東京が
壊滅した
だどっ!?



関東大震災である

いいか
岩井商店は大阪鉄板
(後・日新製鋼、
現・日本製鉄)で
トタン(亜鉛鉄板)を
製造している
復興に必要な資材だ
絶対に公定価格を守れ
暴利をむさぼるな!!

当時
トタンは屋根材など
建築材料として
大量に使用され
震災により価格は
五倍に高騰していた

外国商社の
東京出張所の
安否を確認して
彼らの本国に
報告するんだ

はいっ!

関東地域にある木材を
即日東京市に寄付しろ

私は一〇〇万円を
寄付しますわ

岩治郎
松方さんと一緒に
船で東京に行きなさい
お父様の松方正義閣下の
安否が不明なの

大工も派遣しろ
墨田川の
永代橋なども
復旧にあたれ
後藤新平さんが
復興計画を
作るそうじゃ
後藤さん……いや

この日本を
支えるんじゃー!!

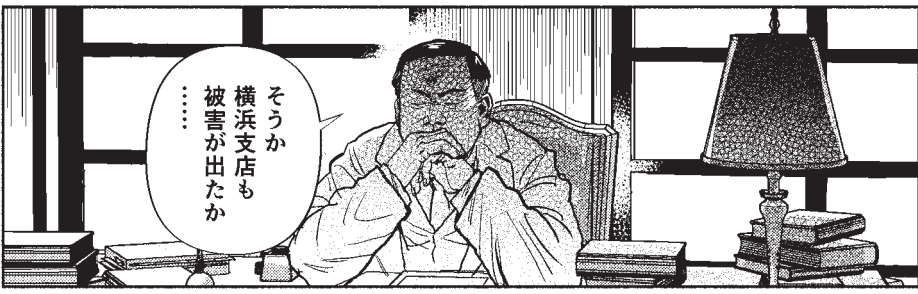
※この義捐金は個人として最高額となった。

鈴木商店の動きは迅速で早くも震災翌日には米・麦を満載した鈴木商店の自社船「華山丸」が出発した

警察、海軍から要請です朝鮮人が井戸に毒を入れたという噂が広まり狙われてるとか……

米騒動のときと同じ風説の流布じゃ華山丸を活かせ鈴木丸の船は人の命も運ぶんじや

華山丸は朝鮮人、中国人約三〇〇人乗せ大阪まで避難させるさらに鈴木商店は自社船二隻を派遣した



そうか 横浜支店も被害が出たか……

日本綿花横浜支店は 大戦後にドイツの商館を日本政府が接収しそれを譲り受けたものであった

震災により綿花、羊毛、米、生糸など原材料が全焼帳簿類も燃えた



燃えてしまったなら仕方ないまた商うまでだこれまで関西以西から積み出される生糸も横浜から輸出していたがこれを機に神戸港からも輸出しよう

大正一二(一九二二)年
神戸港から生糸が初めて
米国向けに輸出された
日本綿花もこのとき
加わっている

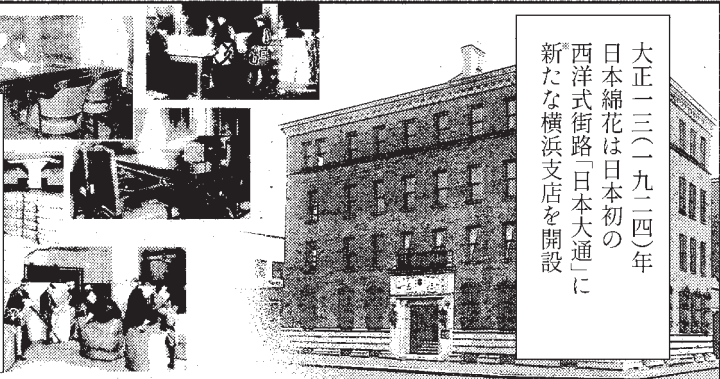
昭和二(一九二七)年には
神戸市立生糸検査所が
設立されるこの時期
日本の生糸輸出のうち
三割を神戸港が占めた



※現在のデザイン・クリエイティブセンター(KIITO)。

大正一三(一九二四)年
日本綿花は日本初の
西洋式街路「日本大通」に
新たな横浜支店を開設

建物は第二次大戦後
GHQに接収され
以降は国、横浜市と
所有が移りつつも現存
横浜市指定文化財に
指定されている



※現在は、プロ野球球団が運営する複合施設「THE BAYS」、倉庫棟は「中区役所別館」として使用されている。

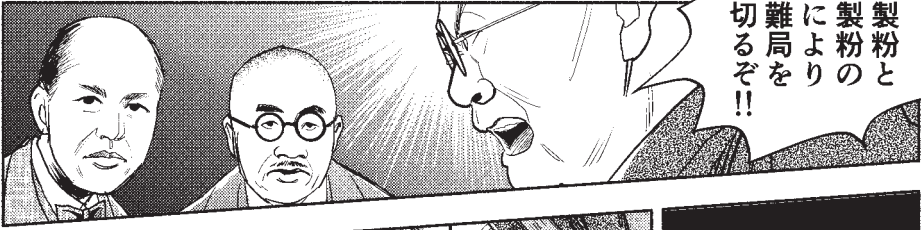
金子直吉は
大正四(一九一五)年から
鈴木商店が破綻する
までの一二年間
東京ステーションホテルの
20号室を借り切っていた

そこには
井上準之助日銀総裁や
松方幸次郎なども
出入りしていた

経営が悪化
してからは連日
鈴木商店の幹部を集め
再建の策を練っていた



日本製粉と
日清製粉の
合併により
この難局を
乗り切るぞ!!



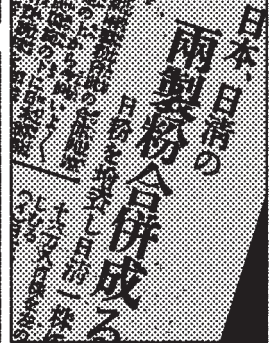
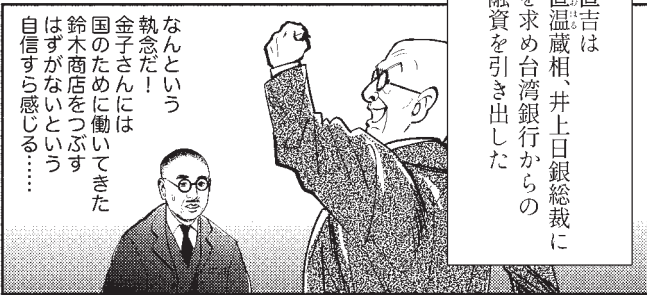
なんとしても
鈴木は
立ち直るっ!!!



しかし合併は
大正一五(一九二六)年
一〇月三日には
新聞に発表されるも
直前に破談

金子直吉は
片岡直温蔵相、井上日銀総裁に
支援を求め台湾銀行からの
追加融資を引き出した

なんという
執念だ!
金子さんには
国のために働いてきた
鈴木商店をつぶす
はずがないという
自信すら感じる……



この年
台湾銀行の要請を受けて
ロンドンから高畑誠一
をしてみよが帰国

おばあちゃん
今帰りましたわ

遅くなり
ました……



高畑
どうか直どんを
支えてくれんか

はい
それはもう



ただ
鈴木はもう……

政府は関東大震災後被災地を救済するために震災前に振り出された手形を日本銀行が再割引することで市場に現金を供給した

さらにこの手形には支払い猶予が与えられたびたび延期をしてきた

そして
昭和二(一九二七)年三月震災手形の早期処理を図るための関連法案について国会で審議を行うも紛糾

実質
台湾銀行
鈴木商店の救済
ではないか?!



台銀の総貸出のうち七割が鈴木商店であること自体がおかしい!

昭和元年末の時点で震災手形の未決済残高二億六八〇万円のうち特殊銀行が一億二一八〇万円を占めた。そのほとんどが台湾銀行関係でありしかも九二〇〇万円が鈴木商店関係であることが判明する

財閥とは異なり
自前の銀行を
持たない鈴木商店は
国策銀行の台湾銀行に
頼らざるを得なかった
のである



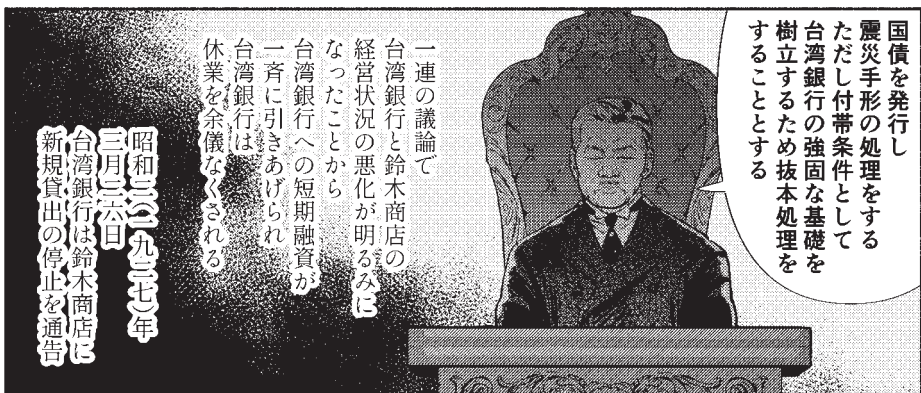
そうだ
そうだ!!

台湾銀行

国債を発行し震災手形の処理をするただし付帯条件として台湾銀行の強固な基礎を樹立するため抜本処理をすることとする

一連の議論で台湾銀行と鈴木商店の経営状況の悪化が明るみになったことから台湾銀行への短期融資が一斉に引きあげられ台湾銀行は休業を余儀なくされる

昭和三(一九二七)年
三月二十六日
台湾銀行は鈴木商店に
新規貸出の停止を通告



そして
昭和二（一九二七年）
四月二日
鈴木商店は
破綻した

